

第3学年 英語科学習指導案

平成27年6月4日 第5時限

1. 単元名 Sunshine English Course 3 Program 3 The 5 Rs to Save the Earth

2. 単元設定の理由

□ 単元観

本単元では環境問題についての武史とリサの会話を通して、一般に知られている3つのR<reduce(減量する), recycle(再生利用する), reuse(再利用する)>に、さらに自分たちの生活を見直すことができるように、<refuse(断る)、repair(修理する)>を加えた5つのRの大切さを考えさせる。このことで、日常の身近な場面で、環境を守るために何ができるかを具体的に考えさせることができる単元である。言語材料としてはいろいろな不定詞を扱う。不定詞はこれまでに、「～すること」(名詞的用法)「～するために」(副詞的用法)、「～するための…」 「～するべき…」(形容詞的用法)を学んできた。本単元の「It is-for 人 to～」 「how to～」 「ask 人 to～」もこれまでの不定詞同様、「to+動詞の原形」が基本的な作り方である。特にIt's -for 人 to 原形は「・・・にとって～することは一だ」と自分にとって難しいこと、簡単なこと、楽しいこと、わくわくすることなど自分の感情を伝えることができ、生徒に興味を持たせやすい題材である。また、これらの表現を身につけることで、既習事項である自分や相手、第三者がふだんすることを伝えたり、たずねたりする表現に加え、自分にとって簡単なこと、難しいことなどを相手に伝えたり、相手にやり方を知っているか尋ねたり、依頼したりすることができ、相手とのコミュニケーションをとるために話したり、書いたりする表現力を今まで以上に高めることができると考える。

② 生徒観

本学級の生徒は、英語の学習に意欲的に取り組み、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒が多い。環境問題については、生徒会の割り箸回収活動やエコキャップ運動に参加し、2年時に保健体育で学習した3Rについてもよく覚えており、多くの家庭がマイバッグを利用しているなど、環境に対して意識が高い生徒が多い。不定詞の学習については、「to+動詞の原形」の表現には慣れてきている。また、「聞く」「話す」活動から「書く」活動へ結びつける指導に重点を置いてきたため、書く活動にも意欲的に取り組む生徒が多い。しかし英語を正しいつづりで書くことには困難を感じている生徒も多い。

③ 指導観

指導にあたっては、いろいろな不定詞の文がいずれも「to+動詞の原形」でできていることを確認する。その際、これらの文の語順を定着させるため、カードを用いて視覚的にも働きかける。また、ゲーム的活動を取り入れることで生徒の意欲を高め、できるだけ多くの英語を発話させ、いろいろな不定詞の文の定着を図りたい。そして、定着させた英文を「書く」活動に発展させるため、生徒自身の興味あることと結びつけて自由に英作文させ、達成感が次のやる気へとつながる活動となるよう工夫したい。

④ 学び合いの視点

展開の前半に本時目標や学習の流れを確認した後は、すべてグループごとの学習を中心に行う。グループによる学習の中に話し合いや学び合いの場面、個人思考の場面を取り入れる。

3. 単元目標

- 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】間違いを恐れずに、進んで発表したり、積極的に話したりしている。
- 【外国語表現の能力】「・・・にとって～することは一だ」と伝える文を正しく書くことができる。
- 【外国語理解の能力】It is —for 人 to 動詞の原形、how to 動詞の原形、ask 人 to 動詞の原形を含む文の内容を正確に読み取っている。
- 【言語文化についての知識理解】It is ～for 人 to 動詞の原形、how to 動詞の原形、ask 人 to 動詞の原形の語順・意味・用法を理解している。

4. 単元の指導と評価の計画（全7時間）

	主な学習内容	学習活動における具体の評価規準（評価方法）
1 本時	○It is —for 人+to+動詞の原形 ・導入 ・インタビューゲーム ・英作文	【表現】「…にとって～することは一だ」と伝える英文を正しく書くことができる。（観察・ワークシート）
2	○教科書の内容理解(Part1)	【理解】It is —for 人+to+動詞の原形を含む文の内容を正確に読み取ることができる。（観察・ワークシート）
3	○how to+動詞の原形 ・導入 ・インタビューゲーム	【関心】間違いを恐れずに進んで発表したり、積極的に話したりしようとしている。（観察）
4	○教科書の内容理解(Part2)	【理解】how to+動詞の原形を含む文の内容を正確に読み取ることができる。（観察・ワークシート）
5	○ask 人 to+動詞の原形 ・導入 ・ワークシート	【言語】ask 人 to+動詞の原形の英文の語順・意味・用法を理解している。（ワークシート）
6	○教科書の内容理解(Part3)	【理解】ask 人 to+動詞の原形を含む文の内容を正確に読み取ることができる。（観察・ワークシート）
7	いろいろな to+動詞の原形の文の問題演習 ・ワークシート	【言語】いろいろな to+動詞の原形の語順・意味・用法を理解している。（ワークシート）

5. 本時の目標

既習の「to+動詞の原形」を基本に、「It's—for 人+to+動詞の原形」を用いて「…にとって～することは一だ」と伝える英文を正しく書くことができる。

6. 準備物 語順カード、じゃんけんゲームワークシート、英作文ワークシート、一文テスト解答用紙、自己評価カード

7. 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点と◆評価
導入	① 英語の歌を歌う。 Because we can	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の雰囲気作りを意識して元気よく歌う。 ・文字と音のつながりを意識させる。
展 開	② 本時の目標、学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板のめあてを一斉に音読させ、自己評価カードに記入させる。学習の流れを確認し、見通しをもたせる。
	「(人)にとって～することは一だ」と伝える英文を書こう。	
	③ コミュニケーション活動（じゃんけんゲーム）を行い、It is —for 人 to 動詞の原形の表現に慣れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・語順カードを用いて、「It is—for 人 to 動詞の原形」の文のポイントを伝える。 ・この表現を学ぶ価値について話す。 ・スムーズに活動ができるよう発音指導を行う。(ALT) ・活動方法を知らせる。
	【グループによる学習】	<ul style="list-style-type: none"> ・ここからは班長が進行役になる。
	④ 「(人)にとって～することは一だ」と伝える英文を作る。 個人 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは一人で考えるようにさせる。 ・自分にとってすることが簡単なこと、難しいことなどを想起させる。 ・班長の進行のもと、発表し合い見せ合うことで、つづりや発音を確認し繰り返し書かせる。
	⑤ ・一文テストを行う。個人 ・一文テストの答え合わせ、確認 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を難易度順に 4 つ並べ、易しいものから順に書くように指示する。 ◆「・・・にとって～することは一だ」と伝える英文を書くことができる。【表現】(観察・ワークシート) <Cの生徒への支援> どう書いてよいか困っている生徒には、ワークシートの例文を指し示し、例文の一部を変えて書くように助言する。 <Aの生徒への手立て> できるだけたくさんの形容詞を使い、複数の英文を作るように指示する。 ・グループで答えを発表し合い、答え合わせを行う。誰もが一文以上の英文が書けるようにする。
⑥ 作った英文を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで一文選び、ホワイトボードに記入し、選ばれた者が全体で発表する。 ・認め合える雰囲気をつくる。 	
まとめ	⑦ 本時の振り返りを行う。 個人→ペア	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての英文を作ることができたか、振り返らせる。(自己評価カードに It is —for 人 to 動詞の原形の英文の作り方について分かったことを記入させ、ペアで伝え合う場面を作る。)
	⑧ 今日のポイントをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての英文の作り方のポイントをまとめる。 ・頑張りを認め、次時への意欲につなげる。